



編集後記

★ 西本願寺 老僧 食事前後に“食べ物に対し感謝の気持ち” 大切拝聴

4日、母の17回忌の法要のため京都・西本願寺に出かけた。非常に外国人で混雑。特に韓国・東南アジア・欧米人が多かった。国宝本堂の阿弥陀堂で数名の僧侶の読経を奉納後、室町時代に建造された豪壮華麗な書院造りの国宝級の様々な部屋や能・狂言舞台（6箇所）を個人的に案内して頂き、世界遺産や国宝級の無形文化財等の庭園の前で精進料理・抹茶の接待を受けました。

何処も人材不足のため 部長級の僧侶による食事前後の挨拶「いただきます」「ご馳走さま」の解説と唱和をして食事。食べる前後に、食べ物に対し感謝の気持ちが大切と言う説教を聴いた。『我々は“あらゆる生き物の命を頂いて 生きている” 粗末にしてはならない』と言う事を改めて感じた。小春日和で寒くなく 良い法要供養のお参りであった。暖冬の影響で紅葉が遅れており、嵐山界限～嵯峨野～保津川溪谷周辺を散策・観光。老僧の説教を聴き ころころ新たな気持ちで帰明した。

★ 令和5年度「税に関する高校生作文」 国税庁長官受賞「税はカ・イ・ヒ」

11月11～17日迄「税を考える週間」。世間では、税を支払うのが嫌な人が多いが“税は会費”と解釈する。救急車やゴミの収集、通学路の整備等々つまり生活に必要なサービスを受けるための会費。18歳迄入院した時の医療費や小中学生の教科書も無料。税で国民は手を繋ぎ、助け合うもの。(国税庁が募った作文で長官賞に選ばれた作品引用) 処が 財務省副大臣のように『生きてるだけで 罰金のように 取られるお金』と理解し、度重なる滞納がバレて辞任。岸田首相が物価高対策で打ち出した『所得税減税』が不評なのは、税金の使い方の不信感。補正予算の財源の7割が借金。政治家から“手を繋ぐための会費”と思えるように襟を正して欲しいものです。

★ 近畿地方で木枯らし1号 暖冬の「夏日」から 一気に「厳冬」へ

アト1.5ヶ月で新年。11日関西で“木枯らし1号”を観測。昨年より2日早い。気象用語で「晩秋（霜降）から初冬（冬至）に掛けて吹く北より強い風」の事。22日は冬の到来を感じる『小雪』。暖冬と云われていたが、夏から秋を飛び越えて一気に厳冬へ。虚弱高齢者は 気温変化に順応し難く 体調を崩し易く室温・湿度等に注意してほしい。

義理のように 短い秋が やってきた

冷暖房 いらな期間 約3日

令和5年 小雪 (文責 MMY)



インフォメーション

むつみ荘 行事予定

- 10日(日) 誕生会・クリスマス会 (入所)
- 20日(水) ビデオ鑑賞会 (入所)
- 18日(月)～23日(土) 誕生日週間 (通所)

こころ 行事予定

- 5日(火) おやつクッキング
- 6日(水) フラワーアレンジメント
- 11日(月) おやつクッキング
- 14日(木) フラワーアレンジメント
- 18日(月)～23日(土) クリスマス週間

